

当日資料



ライオンズクラブ国際協会 2021-2022 年度 336 複合地区 第 5 回ガバナー協議会 複合地区役員連絡会議

DISTRICT GOVERNORS COUNCIL MULTIPLE DISTRICT 336, JAPAN
LIONS CLUBS INTERNATIONAL

- ①2022～2023 年度 336 複合地区組織表（案）06/13 現在最新版
- ②ガバナー協議会事務局運営委員会議事録（06/09 開催）
- ③336 複合地区アラート委員会活動規定（案）06/14 現在最新版
- ④モントリオール国際大会「336 のタベ」式次第（案）
- ⑤第 11 回ライオン誌委員会報告書（06/07 開催）
- ⑥2021-2022 年度 MD336 渡部雅文 国際理事支援委員会組織表
- ⑦一般財団法人 日本ライオンズ フットサル事業について

開催日：2022 年 6 月 16 日（木）
ガバナー協議会
役員連絡会議

場 所：ホテルセンチュリー21 広島
〒732-0824 広島市南区的場町 1-1-25
TEL 082-263-3111



報告事項（当日資料）

報告事項 3

件名：協議会議長

福永 栄一

2021-2022 年度 336 複合地区 渡部雅文 国際理事支援委員会について

※2021-2022 年度 委員会組織の再編成について..... 当日資料にて組織表追加

報告事項 9

336 複合地区ガバナー協議会 事務局運営委員会

森田 安芸彦

事務局運営委員会議事録（2022/06/09 開催） 当日資料にて議事録追加

報告事項 15 その他

一般財団法人 日本ライオンズ

福永 栄一

フットサル事業について

一般財団法人 日本ライオンズ 主催フットサル事業について動員のお願い

大会概要（中国地区大会・四国地区大会） 当日資料にて概要追加

準地区における組織化について



資料訂正（恐れ入りますお手元の資料を訂正ください）

○2021-2022 年度 第 5 回 ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議 出欠表内

次期議長予定者 ⇒ 次期議長

第一副地区ガバナー ⇒ ガバナーエレクト

第二副地区ガバナー ⇒ 次期第一副地区ガバナー

スペシャルティクラブ・FWT ⇒ SCP・FWT

誤記につきまして大変失礼をいたしました。

ライオン誌日本語版委員会 玉浦 巖委員が急遽欠席となりました

○報告事項 6（資料：P30 内）

・ OSEAL フォーラム開催日

本部ホテル：ロッセホテル済州

日程：（変更前）2022 年 11 月 27 日から 30 日 ➡ （変更後）：11 月 24 日から 27 日

オセアル調整事務局より連絡が入りましたので修正お願いいたします

2022～2023 年度 336 複合地区ガバナー協議会・各委員会/LCIF/GAT
日本ライオンズ等 役員一覧表(案) ※2022/6/13 現在

ガバナー協議会 緊急援助資金委員会兼務		議長		副議長		副議長		幹事		会計							
		池原 堅 C・福山久松		市村 通夫 A・鴨島		西尾 慎一 B・鳥取		中島 繁 D・宇部かたばみ		弓場 秀俊 C・三原							
事務局運営委員会		委員長		委員(キャビネット幹事)													
		水野 勝則 C・福山久松		後藤田 邦裕 A・鴨島		池田 康利 B・鳥取いなば		山崎 勉 D・宇部かたばみ		吉井 秀幸 C・三原							
[各チーム・委員会]		複合地区役員				準地区役員											
		担当ガバナー 世話人		MD 委員長 MD コーディネーター		MD 副委員長 MD 副コーディネーター		GMA=ガバナー／委員=準地区委員長／LCIF & GAT=準地区コーディネーター									
								A 地区		B 地区		C 地区		D 地区			
LCIF		市村 通夫 A・鴨島		高岡 英治 A・松山湯築		平山 智雄 B・津山鶴山		市村 通夫 鴨島		西尾 慎一 鳥取		弓場 秀俊 三原		中島 繁 宇部かたばみ			
GMA		真鍋 隆 A・こんびら		真鍋 隆 A・こんびら		—		市村 通夫 鴨島		西尾 慎一 鳥取		弓場 秀俊 三原		中島 繁 宇部かたばみ			
GAT		GMT		西尾 慎一 B・鳥取		真鍋 隆 A・こんびら		山崎 勝彦 藤井 信英 三井 巖 山崎もとみ A・高知 B・岡山みらい C・宮島口 D・大田		真鍋 隆 こんびら		難波 進 岡山あげは		高田 信吾 福山葦陽		岡田 和好 長門	
		GLT		弓場 秀俊 C・三原		三島 英揮 C・福山東		石井 淑雄 上原 正樹 鳴戸 大二 神田 義満 A・坂出白峰 B・岡山西 C・広島鯉城 D・防府		橋本 充好 高知柏		高尾 佳孝 境港		九十九 誠 尾道瑠璃		椎木 一三 徳山	
		GST		中島 繁 D・宇部かたばみ		澤 辰水 D・下関		占部 智之 C・福山松永		酒井 公一 高知りょうま		岡嶋 正和 岡山あげは		村上 進 尾道		金田 寛治 岩国錦	
		SCP FWT		市村 通夫 A・鴨島		鶴飼 恵美 C・広島紅葉		片山 敏子 C・三原久井		山本 久美子 徳島藍		斎藤 由香 岡山みらい		片山 敏子 三原久井		佐々木 歌子 新南陽若山	
会則および付則・ 運営マニュアル編集		藤本 幸嗣 D・岩国桜		岡村 聖爾 D・下関北		大谷 博 B・岡山		一宮 昭夫 北島		榎本 明 総社雪舟		伊藤 哲哉 広島西北		大木 寿之 松江葵			
IT・M・ライオンズ情報		長尾 和彦 A・高松源平		濱本 義樹 C・尾道向島		泉 清博 A・高知中央		十川 剛 三豊		住吉 孝文 玉野		宮本 浩二 広島西北		廣畑 雅弘 萩			
事務局サポート		大木 寿之 D・松江葵															
アラート		実動		西尾 慎一 B・鳥取		高岡 英治 A・松山湯築		藤井 信英 B・岡山みらい 小野 宗次 B・倉敷真備		出射 隆文 高松フェニックス 橋本 孝志 高知よさこい		井上 哲孝 岡山みらい 眞治 憲之 倉敷天領		廿日出 一晴 呉安浦 徳毛 直文 福山北		吉村 あとむ 安来 青谷 和彦 宇部かたばみ	
		運営															
YCE・国際関係・レオ		西尾 慎一 B・鳥取		高橋 淳 C・広島デルタ		蔵本 守雄 A・高松源平		川田 博文 高松葵		江原 忍 鳥取中央		藤井 一仁 福山南		今川 和男 佐田			
ライオンズクエスト		弓場 秀俊 C・三原		三井 巖 C・宮島口		大野 美雄 D・松江		山島 まゆみ 徳島藍		江原 忍 鳥取中央		御藤 良基 尾道		富田 克敏 平生			
青少年・環境保全・保健福祉 (献血・献眼・視聴覚・薬物乱用)		中島 繁 D・宇部かたばみ		藤井 信英 B・岡山みらい		田中 秀幸 D・下関		豊岡 隆司 徳島城山		岡嶋 正和 岡山あげは		森末 善彦 三良坂 川本 博 東広島黒瀬		貞金 宗憲 下関西			
長期計画		酒井 公一 A・高知りょうま		金礪 毅 B・岡山京山		占部 裕 C・福山ピース		春木 扶佐子 鳴門		前原 りつこ 岡山ハーモニー		堀 葉子 広島中央		山崎 もとみ D・大田			
								横山 伸也 松山金亀		四木 秀章 岡山せとうち		夜船 博 三原浮城		矢田 二三夫 出雲中央			
								石川 裕之 三豊		渋江 基史 岡山		三谷 哲也 福山シティ		福田 幸博 下関響灘			
複合地区監査		川辺 信郎 A・徳島城山		松本 正福 B・境港		岡村 聖爾 D・下関北		第 69 回年次大会 委員長		高田 健司 C・福山葦陽		LCIF 副エリアリーダー 336・337 担当		橋本 充好 A・高知柏			
第一副地区ガバナー								第二副地区ガバナー									
山崎 勝彦 A・高知		藤井 信英 B・岡山みらい		三井 巖 C・宮島口		山崎 もとみ D・大田		石井 淑雄 A・坂出白峰		上原 正樹 B・岡山西		鳴戸 大二 C・広島鯉城		神田 義満 D・防府			
国際理事会		元国際理事／ガバナー協議会顧問						一般財団法人日本ライオンズ 理事会				理事 福永 栄一 C・広島ニュー					
		渡部 雅文 B・倉敷西		谷野 徹 D・下関西		藤井 基博 C・福山東								名越 勉 B・倉吉			
一般社団法人 日本ライオンズ 理事会／委員会		執行理事 ○○○○ ※役職未定 PR マーケティング委員会 (ライオン誌日本語版委員会) 副委員長						理事 SON・渉外・一般・PR マーケティング・デジタル化委員会 委員長 ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 委員長									
		池原 堅 C・福山久松						福永 栄一 C・広島ニュー									
		監事		監査		ライオン誌 日本語版委員会 委員		会則委員会 委員		国際大会委員会 委員		国際理事候補者 推薦委員会 委員		YCE 委員会 委員			
		岡村 聖爾 D・下関北		寺越 慎一 C・広島平和		玉浦 巖 C・三原浮城		岡村 聖爾 D・下関北		福代 明正 D・出雲中央		金礪 毅 B・岡山京山		高橋 淳 C・広島デルタ			
		LQ・薬物乱用防止 委員会 委員		西日本統括リーダー		MD336 班長		アラート委員会									
		MD336 副班長															
藤井 信英 B・岡山みらい		藤井 信英 B・岡山みらい		畑中 隆之 B・岡山みらい		田中 元 A・高松空港		井上 哲孝 B・岡山みらい		廿日出 一晴 C・呉安浦		吉村 あとむ D・安来					



第 2 回事務局運営委員会議事録

日時 2022 年 6 月 9 日 (木)

時間 14:30~16:30

場所 岡山シティホテル 桑田町

出席者

出席者：次期協議会議長 池原 堅
運営委員会：A 地区幹事 長尾 和彦
B 地区幹事 山田 隆嗣
C 地区幹事 高東 信男
D 地区幹事 山崎 敏弘 欠席
次期事務局運営委員長 水野 勝則
事務局長 高杉 貴恵
進行：事務局運営委員長 森田安芸彦

委員長挨拶：本年度の委員会での取り組みと、成果について報告を行う

次期議長挨拶：労をねぎらう言葉をいただき、良い点は次年度に引継ぎ取り組んでいきたい
旨のご挨拶をいただく

議題.年次大会における運営委員会企画について

年次大会開催における問題点についての報告および説明と対処について、次年度の年次
大会委員会へと引き継ぎ

議題.複合事務局について

残業の軽減や議事録の作成についての取り組みについての現状報告を行う
特に業務に支障をきたしている、各種議事録について詳細を報告させていただく
また事務局員の会議出席や出席回答の期限厳守についても今後の課題とする
その他問題点や今後の改善策について、次期を含め話し合いを行う

議題.本年度における問題点と改善策

本年度、会議における準備や運営上の取り組みなどの検証をおこないました。スムーズ
な会議への取り組み準備をご報告し、良い点は次年度取り組んでいただくよう申し送り
を行う

議題.本年度の反省点

各委員からの一年間を通しての反省点の報告をいただく

議題.次年度への引き継ぎおよび申し送り

上記議題に対しその都度議題に対し引継ぎ、次年度への事務局運営委員会としての発展
につなげスムーズな運営に取り組めるよう申し送りを行う

以上の議題について検証・話し合いを行い次期に可能な限り取り組んでいただく旨を約 2 時間
の会議にて有意義に進めさせていただきました。

年度末の単年委員会につき、決議などはございません（次年度委員会へ）

以 上

文責 事務局運営委員長 森田安芸彦



2022/6/14 現在

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区アラート委員会活動規定（案）

☐活動理念 ☐組織体制 ☐活動規定 ☐啓発活動 ☐緊急援助資金

☐活動理念

- ・ライオンズクラブが掲げる「We serve 我々は奉仕する」のモットーを基に、自然災害における日本国内（地区内外）に対し人道支援を目的に活動する。
- ・被災地ファーストを守り「すべては被災地・被災者の為に」を念頭において行動する。
- ・被災準地区で取り決めされた災害支援受援プランに基づき後方支援を行う。
- ・各準地区に対し県社会福祉協議会や支援団体との締結を促進させる。
- ・各準地区に対し複合地区が行うべき啓発活動を行い日頃からの「備え」を行う。
- ・準地区のアラート規定の指針となる様、委員会の活性化を図る。

☐組織体制

第一項 役職名称・定数

336 複合地区におけるアラート委員会組織に関して下記の通りの役職名称と人員を定める。

委員長 1名

副委員長 2名

実動委員 4名

運営委員 4名

第二項 職務と任期

◆委員長

- 1) 一社) 日本ライオンズアラート委員会複合地区アラート委員を兼務するのが望ましい。
- 2) 被災地区の支援レベル判定に応じて複合地区後方支援対策本部の責任者を担う。
- 3) 災害レベル判定に応じて一社) 日本ライオンズアラート委員会への後方支援を要請。

- 4) 一社) 日本ライオンズアラート委員会での決定事項や最新の情報等を準地区に伝え、一社) 日本ライオンズアラート委員会とのパイプ役を担う。
- 5) 任期は上限 3 年とし再任は妨げない。
- 6) 複合地区内においてのアラート委員会活動の啓発事業としてフォーラム・セミナーを開催する。
- 7) 年数回アラート委員会を開催し、平時から組織の強化を目的として連携・啓発・実務シミュレーションを行う。

◆副委員長

- 1) 一社) 日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区班長(または西日本統括リーダー)を兼務するのが望ましいが、経験や技能を含め適性があると認める場合はこの限りではない。
- 2) 委員長を補佐し後方支援活動を側面から支える。
- 3) 任期は上限 3 年とし再任は妨げない。任期終了後、複合地区アラート委員会アドバイザーを務める。任期は 1 年。
- 4) 被災地区に対して支援プランのサポートや活動におけるパートナー役として活動する。

◆実動委員

- 1) 準地区のアラート委員長が務め、一社) 日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長を兼務するのが望ましいが、経験や技能を含め適性があると認める場合はこの限りではない。
- 2) 任期は上限 3 年とし再任は妨げない。

◆運営委員

- 1) 災害時に物資調達・資金管理・経費管理等を行い災害対策本部の運営に重視する。
- 2) 任期は上限 3 年とし再任は妨げない。

☐活動規定

第一項 災害時における支援内容及び支援・受援体制（複合地区内での災害時）

- 1) 被災準地区のレベル判定により、複合地区アラート委員長、ガバナー協議会議長、複合地区アラート副委員長、実動委員、運営委員を招集し被災地区への複合地区後方支援会議を開催する。

※後方支援会議

・後方支援内容の取り決め

- ・活動資金及び支援に関わる費用予算の取り決め
 - ・複合地区後方支援対策本部設置の可否
 - ・本部設置に向けたプラン（場所・条件・費用等）の作成
 - ・災害規模が複数の地区である場合、被災地区ガバナーを招集し、後方支援プラン策定に努める。
- 2) 被災地区の打ち出すレベル判定に基づいて準地区より要請があった場合、一社）日本ライオンズアラート委員会委員長とも連携を図り後方支援を強化する。
 - 3) 支援活動の一環として受援活動も必要に応じて行う。
 - 4) 複合地区外での被災時、被災複合地区と連携をとり支援プランに基づき後方支援を行う。

※災害レベル：下記等およその被害状況の情報を得て判定

- ・家屋倒壊
- ・避難所数
- ・ボランティアセンター設置日
- ・行方不明者数

レベル1（少人数のみに影響を与える緊急事態）クラブ・ゾーン・リジョンで対応

レベル2（地域社会に影響を与える緊急事態）準地区又は複合地区で対応

レベル3（数千の人々に影響を与える緊急事態）東西エリア又は全日本での対応

- 5) 被災地区への支援アドバイザーとして複合地区副委員長、実動委員を派遣する事が出来る。
- 複合地区緊急援助支援金が必要となる場合はガバナー協議会議長の下承を得て実行する。
- ※緊急援助資金委員会を開催（委員長：議長 委員：各地区ガバナー）

係る派遣に必要な旅費交通費は、ガバナー協議会議長の承認を得て複合地区運営費内旅費交通費から拠出する。

第二項 複合地区後方支援対策本部設置規定及び役割

- 1) 本部の最高責任者はガバナー協議会議長とし、運営責任者は複合地区アラート委員長とする。
- 2) 本部の設置にあたり、場所・条件・備品購入等の取決めは複合地区後方支援会議で取り決める。
- 3) 本部の人事は委員会で構成し委員長が運営プランを作成し議長の許可を得て運営する。
- 4) 支援金の受入れ口座開設に関しては、議長と協議の上必要に応じて開設するが、基本的に準地区の受入れ口座を主とする。

- 5) 災害レベル3以上（一社）日本ライオンズアラート委員会・複合地区アラート委員会の後方支援が必要時）の場合、アラート委員長はガバナー協議会議長の許可を得て一社）日本ライオンズアラート委員会の後方支援策定会議に参加し、被災地の現状を報告し的確かつ効果的な後方支援が行えるよう努める。
- 6) 本部は一社）日本ライオンズアラート委員会からの支援をより効果的にする為に、常に情報発信し被災地ファーストを心がける。また準地区が申請する LCIF 交付金の申請手続きのアドバイス等を行う。
- 7) 支援金・物資等は被災地区災害支援対策本部での取りまとめとなるが、複合地区で直接取り扱う支援に関しては活動終了時委員会にて報告をする。
- 8) 複合地区緊急援助資金を支出した場合、収支決算報告書を作成し複合地区アラート委員会内で内容を精査し、ガバナー協議会・役員連絡会議へ報告する事とする。

収支決算書作成にあたり監査役を最低2名選任する。（例 ガバナー協議会会計・複合地区監査）

第三項 支援・受援活動における禁止事項

- 1) 他準地区・他複合地区からの物資及び支援金は災害支援以外の目的に使用してはならない。
- 2) 支援金・物資の協力は委員会の名以外では要請してはならない。

☐ 啓発活動

第一項 アラート普及活動

- 1) 336 複合地区内準地区アラート委員会に対し活動理念・規約・組織を浸透させ被災準地区の活動が円滑に出来る様務める。
- 2) 複合地区主催のアラートフォーラムを年に一回開催する。

第二項 社会福祉協議会・災害支援団体との提携

- 1) 準地区と県・市・町・村レベルの災害協定締結を促進させる。
- 2) 社協だけではなく必要と応じた災害支援団体との災害協定も締結可能とする。
- 3) 災害協定締結後もお互い密に連絡の取れる関係性を構築するよう促進させる。

第三項 活動内容と予算経費

- 1) 必要経費はガバナー協議会議長に使用目的を報告し複合地区運営費予算内で実行できるものとする。

□緊急援助資金

第一項 実行と報告義務

- 1) 336 複合地区アラート規定活動規定第一項 4) 災害レベル判定に基づき支援プランを作成し必要に応じて支出する事が出来る。
- 2) 他複合地区内で発生した災害に対し他複合地区から支援金要請があった場合上限 200 万円を限度額として支出する。
- 3) 上記以外に準地区から支援金要請があった時は 100 万円を限度として支出するか、あるいはクラブ会員の自主的寄付金によって対応する。
- 4) 全ての支出に関しガバナー協議会議長の承認が必要となる。
- 5) それぞれの支出額は複合地区アラート委員会で取りまとめ、ガバナー協議会議長の承認を持って支出する。 但し、その後のガバナー協議会及び役員連絡会議で報告するものとする。
- 6) 激甚災害指定の災害時は災害規模に応じてガバナー協議会議長と協議のうえ拠出額を要検討し支出する。

第二項 積立

- 1) 複合地区緊急援助資金積立が支出により 1000 万円を下まわった場合には次期において特別会費の徴収を次期ガバナー協議会議長が考慮する。

※336 複合地区緊急援助資金規定より抜粋
2.資金の調達

- (3)「緊急援助資金」が著しく少額になった場合（最低額を 1,000 万円として、最低額に不足が出た場合）は、複合地区大会の決議を経て会員に資金の拠出方を要請することができる。

第三項 禁止事項

- 1) 他の科目への流用は認められない。特別な事由で流用する場合はガバナー協議会の承認を得るものとする。

第四項 管理

- 1) 336 複合地区緊急援助資金積立金の支出に関する基準は 336 複合地区アラート委員会活動規定に追記する。
- 2) 336 複合地区特別会計での口座開設とし管理（入出金・決算）は複合地区会計とする。

災害シミュレーション

一社) 日本ライオンズ
アラート委員会

災害発生

現地視察

災害支援受援活動会議

被災地区レベル判定

災害支援対策本部設置

準地区・複合地区
アラート委員会

災害発生

支援活動会議
(準地区)

被災地レベル判定
(準地区)

災害支援対策本部設置
(準地区)

複合地区
後方支援会議

複合地区
後方支援対策本部設置

第 104 回モントリオール国際大会「336 の夕べ」式次第（案）

日 時：2022 年 6 月 26 日（日）18：00～19：30

場 所：Vargas Steakhouse

司 会：336 複合地区大会参加委員長 福代 明正

1. 開会挨拶 336 複合地区ガバナー協議会議長 福永 栄一
2. 乾 杯 336 複合地区ガバナー協議会議長 福永 栄一

< ご歓談 >

※336 次期複合地区ガバナー協議会議長 挨拶 池原 堅

3. ガバナーエレクト紹介 司会者又は池原

市村 通夫（いちむら みちお）	A 地区（鴨島 LC）
西尾 慎一（にしお しんいち）	B 地区（鳥取 LC）
弓場 秀俊（ゆみば ひでとし）	C 地区（三原 LC）
中島 繁（なかしま しげる）	D 地区（宇部かたばみ LC）

4. 次期第一副地区ガバナー紹介 336- A 地区ガバナー 蔵本 守雄

山崎 勝彦（やまさき かつひこ）	A 地区（高知 LC）※バーチャル
藤井 信英（ふじい のぶひで）	B 地区（岡山みらい LC）※バーチャル
三口 巖（みぐち いわお）	C 地区（宮島口）※現地
山崎 もとみ（やまさき もとみ）	D 地区（大田 LC）※バーチャル

5. 現ガバナー退任挨拶 336- A 地区ガバナー 蔵本 守雄

蔵本 守雄（くらもと もりお）	A 地区（高松源平 LC）※現地
平山 智雄（ひらやま ともお）	B 地区（津山鶴山 LC）※バーチャル
三島 英揮（みしま ひでき）	C 地区（福山東 LC）※バーチャル
大野 美雄（おおの よしお）	D 地区（松江 LC）※バーチャル

6. 閉会挨拶 次期 336 複合地区ガバナー協議会議長 池原 堅

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第11回会議 報告書

日 時：2022年6月7日（火）13:30～16:30

場 所：一般社団法人日本ライオンズ事務所

出席者：国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズクラブ）
国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ）
委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズクラブ）
国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズクラブ）



団委員長の開会あいさつの後、渡部、永田両国際理事、続いて古川副理事長からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021年7月～22年4月ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認し

た。4月にはライオン誌印刷版を発行したので、直接出版費が発生。累計38,083,333円、予算消化率は83.4%で、年間6回中の5回の発行が完了した時点で順当である。毎月発行のデジタル版関連費は10回発行完了時点で4,035,984円、予算消化率は64.8%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

●2022-23年度印刷版発行回数

前回委員会後に団委員長から社団理事長宛に発信した、ライオン誌印刷版の紙による発行を年4回とする日本ライオンズ理事会決定の撤回を求める文書への対応について、古川副理事長から次のような説明があった。

「社団理事会ではライオン誌委員会が求める印刷版年6回発行分を含めた次年度予算案が承認されているが、会員減少で社団の財政は厳しい状況にあり、経費削減のために印刷版発行も見直しが必要である。次年度はパイロットとして年6回のうち2回をPDFなど他の方法で発行し、その結果によって年6回に戻すという判断もあり得る」

この説明を受けて、委員から質問や意見が出され協議した。委員から出された意見は以下の通り。

「委員会では時間をかけて検討した上、22-23年度は6回発行としてその間にウェブマガジンの普及に努め、23-24年度から4回発行とすることを決定した。これを尊重してほしい」

「印刷版でなければ読めないという会員も相当数おり、そうした人を置き去りには出来ない」

「社団設立前の独立採算だった時は、ライオン誌は国際協会補助金の他に会員1人当たり50円の特別負担金を徴収し、剰余金を活用しつつ発行することが可能だった。社団設立時に特別負担金50円が賛助会費80円の中に含まれる形になったことで、一方的に縮小を求められるのは納得しがたい」

「承認された予算の範囲内で次年度委員会が適宜判断し発行すればよい」

「地区誌をライオン誌と同梱発送している地区の中には、発行回数をライオン誌に合わせている地区もある。早めに決定し通知する必要がある」

「紙からデジタルへの移行は不可避なもので、年4回発行として新たな試みに挑戦してみるのもよい」

「PDF配布は委員会で検討したことがなく、現時点では全会員に届ける手段がない。PDFを作るには印刷物の制作と同じ編集経費や労力が必要なため、印刷版減少の代替としてはウェブマガジンの充実に注力すべき」

協議の結果、今年度委員会としては次年度の印刷版発行回数を年6回とする方針を次年度委員会に申し送り、その決定は次年度委員会に委ねることとした。

- 理事会方針書16章「ライオン誌」B.4.項

4月開催の国際理事会で承認された、理事会方針書16章「ライオン誌」B.4.項にあるライオン誌公式版への補助金に関する文言の変更箇所を確認した。

2. 印刷版関係

- 2022年7・8月号(6月20日発行)台割(案)

「国際理事だより：川島、渡部国際理事」、「編集室：団委員長、星野編集長」。「2022-23年度地区ガバナー紹介」(4ページ)を掲載。予定していた「2020-21年度LCIF年次報告」、「国際理事会決議事項要約」は日本語訳原稿の到着が間に合わず掲載出来なかったため、休載予定の「日本ライオンズ物語」を入れるなど台割を修正し対応した。

- 2022年9・10月号(8月20日発行)台割(案)

新年度最初の発行号として、国際会長ポートレートを表紙とし、「2022-23年度国際会長テーマ」は要約版(2ページ)を掲載。「モントリオール国際大会」は大会参加予定者に依頼して写真の提供を受け、国際本部配信の写真・情報と共に記事をまとめる。「ライオンズ・インフォメーション」の「国際理事だより」は新国際理事に原稿を依頼し、「GAT情報」「日本ライオンズ情報」は休載する。また、7・8月号に入れられなかった「国際理事会決議事項要約」をこの号に掲載する。

3. ウェブマガジン関係

- 2022年6月号(6月1日更新)出来

ウェブマガジン6月号の出来を確認した。

- 2022年7月号(7月1日更新)更新予定(案)

- 2022年8月号(8月1日更新)更新予定(案)

7、8月号の主要コンテンツについて、活動概要と取材経費が提出され承認した。

4. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

5. その他

- ウェブマガジン専門部会

団委員長からウェブマガジン・リニューアルのロードマップが提出され、説明があった。リニューアルは2023年3月完了を目指し、専門部会ではウェブマガジンの内容協議、業者との打ち合わせを経てリニューアルの具体案をまとめ、22年12月までに委員会に答申する。

閉会あいさつ 団委員長

【次回開催予定】＊新旧合同委員会

7月14日（木）14:00～16:00（Zoom）

2021-2022年度 336複合地区 渡部雅文 国際理事支援委員会

最高顧問	
元国際理事	谷野 徹
元国際理事	藤井 基博
元国際理事	名越 勉
委員長	
336複合地区ガバナー協議会 議長	福永 栄一
副委員長	
ガバナー協議会 副議長 /C地区 ガバナー	三島 英揮
ガバナー協議会 副議長 /D地区 ガバナー	大野 美雄
ガバナー協議会 幹事 /A地区 ガバナー	蔵本 守雄
ガバナー協議会 会計 /B地区 ガバナー	平山 智雄
次期ガバナー協議会 議長	池原 堅
次期ガバナー協議会/A地区 ガバナーエレクト	市村 通夫
次期ガバナー協議会/B地区 ガバナーエレクト	西尾 慎一
次期ガバナー協議会/C地区 ガバナーエレクト	弓場 秀俊
次期ガバナー協議会/D地区 ガバナーエレクト	中島 繁
委 員	
ガバナー協議会 会計 /B地区 ガバナー（兼）	平山 智雄
LCIFキャンペーン 100 副エリアリーダー	大谷 博
次期336-B地区 第一副地区ガバナー	藤井 信英
ガバナー協議会事務局運営委員/B地区 幹事	山田 隆嗣
336-B地区 キャビネット会計	福島 正明
次期ガバナー協議会事務局運営委員長	水野 勝則
ガバナー協議会事務局運営委員長	森田安芸彦

2022/6/6現在

素案作成者：森田安芸彦

令和4年2022年第1回全国特別支援学校フットサル大会 実施要項

本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もって広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。

- 1 名称 第1回全国特別支援学校フットサル大会
- 2 主催 一般財団法人日本ライオンズ
- 3 後援 スポーツ庁(予定)、全国特別支援学校長会
- 4 主管

全国大会	一般財団法人日本ライオンズ
北海道地区大会	公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会
東北地区大会	一般社団法人東北サッカー協会
東関東及び西関東地区大会	関東知的障がい者サッカー連盟
北信越地区大会	一般社団法人東北サッカー協会
東海地区大会	名古屋オーシャンズ株式会社
関西地区大会	関西知的障がい者サッカー連盟
中国地区大会	学校法人環太平洋大学
四国地区大会	一般社団法人愛媛県サッカー協会
九州地区大会	一般社団法人沖縄県障がい者スポーツ連盟
- 5 開催期日及び競技会場

全国大会(11/4-5) 11月5日(土) 札幌市北ガスアリーナ
※開会式 11月4日(金) 京王プラザホテル札幌

北海道地区大会	7月29日(金) 北海道立野幌総合運動公園体育館
東北地区大会	8月27日(土) 28日(日) 秋田県中央公園トレーニングセンター体育館
東関東及び西関東地区大会	8月27日(土) 駒沢屋内球技場
北信越地区大会	9月11日(日) ジョイアクロス アクロス館(アクロス高松)
東海地区大会	8月25日(木) 名古屋オーシャンズフィールド
関西地区大会	8月4日(木) 堺市立大浜体育館 大アリーナ
中国地区大会	8月28日(日) IPU・環太平洋大学第4体育館
四国地区大会	7月10日(日) ツインドーム重信(体育館・アリーナ)
九州地区大会	9月4日(日) ロイヤルホテル沖縄残波岬 ZANPA SPORTS PARK
- 6 参加資格

各特別支援学校単位の参加とすること。
- 7 参加人員

1校のチームは、生徒3～8名、引率1～2名、計4～10名で編成すること。
- 8 競技方法
 - (1) 参加チーム数により分けられたグループ毎にリーグ戦を行い、順位決定戦を行う。
 - (2) 順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝3、分1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数

・その他

第1回全国特別支援学校フットサル大会中国地区大会 実施要項

- 1 目的 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もつて広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。
- 2 主催 一般財団法人日本ライオンズ
- 3 後援 一般財団法人岡山県サッカー協会
- 4 主管 IPU・環太平洋大学
- 5 協力 IPU・環太平洋大学サッカー部、陸上競技部
- 6 開催期日 2022年8月28日(日)
- 7 競技会場 IPU・環太平洋大学第4体育館
〒709-0863 岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺 721 TEL:086-201-3171(体育会事務局)
- 8 参加資格 (1) 基本的には、特別支援学校(高等部)毎の参加とする。
(2) 合同チームの場合は、「A特別支援学校・B特別支援学校」等の学校名で編成すること。
※合同チームの条件
選手数が不足している特別支援学校の複数チーム(最大2校まで)による「合同チーム」の大会参加を認めます。ただし、本大会の趣旨を重視し、勝利至上を目的とする合同ではないこと、5名以上の選手を有する学校同士ではないことを条件とします。
- 9 参加人員 1チームは、生徒5~10名、引率1~2名、計6~12名で編成すること。(※要相談)
- 10 競技方法 (1) 参加チーム数により分けられたグループ毎にリーグ戦を行い、順位決定戦を行う。
(2) 試合時間は20分(前・後半10分)のランニングタイムとし、ハーフタイムは5分間(前半終了から後半開始まで)とする。
- 11 競技規則 事業実施年度のフットサル競技規則による。また、本大会の競技会規程を下記の通り定める。
- 12 組み合わせ IPU・環太平洋大学において抽選の上決定する。
- 13 表彰 優勝、準優勝、3位のチームまで表彰する。優勝および準優勝チームには盾を授与する。
大会で優勝した学校は、令和4年2022年11月4日(金)~5日(土)北海道札幌市で開催の全国特別支援学校フットサル大会に出場する。(なお、都合により出場できない場合は、準優勝等の学校が出場する。)
- 14 参加申込 (1) 参加チームは、参加申込書に必要事項を記載し、プライバシーポリシー同意書にチーム代表者の捺印したものを(PDF)をIPU・環太平洋大学 桂宛てにメールにて提出すること。
(2) 参加申込締切日:2022年6月28日(火)
(下記申込締切日を念頭に、余裕を持って申し込むこと。)
- 15 参加料 無料とする。
- 16 経費 (1) 大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費は、予算の範囲内で助成する。
(2) 大会会場から遠隔にある学校は、開会式及び閉会式に全校が参加することを前提に、前泊及び後泊の宿舎を提供する。
- 17 傷害補償 チームの責任において、傷害保険に加入すること。
- 18 弁当について 弁当については予約制とし、希望するチームには当日の昼食分を大会運営側で準備する。
- 19 個人情報保護について
本大会における選手登録情報等の個人情報については、本大会業務遂行の目的のみに使用する。
- 20 その他
(1) WBGT(熱中症指数)の値により飲水時間又はクーリングブ레이크を両チーム、審判団、マッチコミッショナーと協議し実施する。
(2) コロナウィルスの感染対策は、IPU・環太平洋大学の感染対策ガイドラインに沿った対応をする。チーム及び関係者、大会役員・スタッフは、健康チェック表を当日大会本部に提出すること。
(3) その他、疑問、不測の事態等が生じた場合には、会場の競技委員の指示に従うこと。
- 21 問い合わせ
IPU・環太平洋大学サッカー部 監督 桂 秀樹 080-2418-9071

5 大会運営予算の振込先口座(各地区大会主管組織の口座)

銀行名「中国銀行」 支店名「瀬戸」

普通口座名(フリガナ) 「全国特別支援学校フットサル大会中国地区事務局 坂手雅斗
(ゼンコクトクベツシエンガッコウフットサルタイカイチュウゴクチクジムキョク サカテ マサト)」

普通口座番号 「2538560」

第1回全国特別支援学校フットサル大会四国大会 実施要項

- 1 目的 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もって広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。
- 2 名称 第1回全国特別支援学校フットサル大会四国大会
- 3 主催 一般財団法人 日本ライオンズ
- 4 共催 一般社団法人 四国サッカー協会
- 5 主管 一般社団法人 愛媛県サッカー協会
- 6 後援 全国特別支援学校長会
愛媛県教育委員会
徳島県教育委員会
香川県教育委員会
高知県教育委員会
愛媛県障がい者スポーツ協会
- 7 開催期日 2022年7月10日(日)
- 8 競技会場 ツインドーム重信 (愛媛県東温市西岡甲 1367 番地)
- 9 参加資格
 - (1) 特別支援学校毎の参加とすること。
 - (2) 合同チームの場合は、「A 特別支援学校・B 特別支援学校」等の学校名で編成すること。※合同チームの条件
選手数が不足している特別支援学校の複数チームによる「合同チーム」の大会参加を認めます。ただし、本大会の趣旨を重視し、勝利至上を目的とする合同ではないこと、5 名以上の選手を有する学校同士ではないことを条件とします。
※今大会は、安全面を一番に考えるため、知的障害と聴覚障害に限ります。
- 10 参加人員
1 校のチームは、生徒 3～8 名、引率 1～2 名、計 4～10 名で編成すること。
- 11 競技方法
 - (1) 参加チーム数により分けられたグループ毎にリーグ戦を行い、各グループ 1 位チームで決勝戦を行う。
 - (2) 順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は勝 3、分 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - (3) 試合時間は 20 分(前・後半 10 分)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムは 5 分間(前半終了から後半開始まで)とする。
※但し、チーム数により試合形式・試合時間は変更します。
- 12 競技規則
 - (1) 2021/2022JFA フットサル競技規則による。また、本大会の競技会規程を下記の通り定める。
 - (2) ボールはフットサルボール 4 号球を使用する。
 - (3) 選手の交代は自由である。
 - (4) 交代時は、ピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。
 - (5) キックインはボールがピッチから出た地点のタッチライン上から静止したボールを蹴る。
 - (6) キックオフ、キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
 - (7) キックイン、フリーキック等により再開する際は、相手選手は 5 m 以上離れる。
 - (8) ファイブファウルを適用しない。
 - (9) 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。
なお、スライディングタックルがあった際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
 - (10) バックパスルールは適用しない。
 - (11) 退場処分は、レッドカードもしくは 1 試合 2 度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
 - (12) 出場選手は必ずレガースを着用することとする。
 - (13) ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品をテープ等で覆うことを禁止とする。
 - (14) ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。
 - (15) 眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。いずれの場合もチームの第 1 試合の前に大会本部の承認を得ることとする。
 - (16) ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。
- 13 競技者の用具
 - (1) ユニフォーム



ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会
事務局：〒700-0985 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F TEL086-234-0695